

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成24年度】

( ①歴史・文化施設 )

1 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	4	施設名	掛川市清水邸		担当課名	地域支援課
区分			内容・説明			
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市清水邸条例				
	(2)施設設置目的	清水邸の自然、文化及び歴史を市民に広く開放するとともに、茶道文化の普及及び伝承を図り、もって市民文化の発展に寄与する。				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	清水邸庭園:面積2,869㎡、茶室「湧水亭」:建築面積154.82㎡。茶室の呈茶は有料であるが、庭園は無料で公開している。				
	(4)施設建設年度	平成4年度				
	(5)耐震性能の有無	無				
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)					
	(7)指定管理者名	掛川観光協会大須賀支部				
	(8)指定期間	平成23年4月1日 から 平成26年3月31日 まで				
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営				
	(10)自主事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況を3-(3)欄に記入のこと。		
(11)指定事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況を3-(3)欄に記入のこと。			
(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務)		<input type="checkbox"/> 提出なし			
(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成24年度)			

区分		H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	2,445	3,200	3,046			
	施設・設備ごと	入館者	2,445	2,317	2,447		
		使用者		883	599		
(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓	
(施設・設備ごと)	茶室入館者	A平日昼間			83%	有入館者日数/開館日数	
		C土日祝昼間			96%	有入館者日数/開館日数	
区分		H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名	(財)掛川市生涯学習振興公社				※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費	977	882	907			
	(3)運営日数	305	306	308	308		
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
②臨時職員		1.0	1.0	1.0	1.0		

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	①人件費	1,745,793	1,936,970	1,829,735	1,914,780	
	②印刷費	0	0	0	0	
	③通信費	112,970	110,593	95,946	152,680	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	0	171,955	42,112	194,820	
	⑤借上料	0	0	0	0	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	37,250	60,960	22,382	34,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	492,376	542,670	773,246	474,520	
	計	2,388,389	2,823,148	2,763,421	2,770,800	
	対前年度増減率		18.2	△ 2.1	0.3	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	3,075,144	2,121,420	2,281,440	2,629,200	
	緑化管理業務	2,453,453	1,449,000	1,607,760	1,869,000	
	防犯・防火管理業務	147,420	147,420	147,420	151,200	
	庭園清掃業務	435,106	0	0	0	
	空調機保守業務	39,165	0	0	84,000	
	池清掃管理業務	0	525,000	526,260	525,000	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	39,060	595,386	462,984	100,000	
	③光熱水費	297,407	263,019	292,155	300,000	
	④燃料費	0	0	0	0	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	0	0	0	0	
	計	3,411,611	2,979,825	3,036,579	3,029,200	
	対前年度増減率		△ 12.7	1.9	△ 0.2	

(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	5,800,000	5,802,973	5,800,000	5,800,000	
(4)合計のうち運営コストの割合	41.2	48.7	47.6	47.8	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	1,150,980	1,070,150	1,170,050		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	48.2	37.9	42.3		

3 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	1,150,980	1,070,150	1,170,050	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	5,800,000	5,800,000	5,800,000	
収支差額 a) - b)	△ 4,649,020	△ 4,729,850	△ 4,629,950	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	0	0	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額( a-トータルコスト)	0	0	0	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)	0	0	0	

(3)指定事業及び自主事業の状況

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 指定事業の収入	0	0	0	
b) 指定事業の支出	0	0	0	
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) 自主事業の収入	0	0	0	
d) 自主事業の支出	0	0	0	
収支差額 c) - d)	0	0	0	

4 施設管理所管課(市担当者)としての見解と改善提案

検討項目	現状分析と課題	左記課題を解決するための改善提案(いつから、誰が、何を、どうする)
<p>(1) 施設の収支差額の改善について</p> <p>【行革推進係から】 いくら公の施設とはいえ、毎年巨額の収支差額を生じ、不足分を市民の税金で賄うことが果たして適正な経営といえるのでしょうか？ 知恵と工夫により、少しでも収支バランスを改善することを念頭に、類似施設の統廃合も含めて、施設運営のあり方を考えましょう。</p>	<p>平成24年度の収支差額は、23年度に比べ、99,900円改善されたが、入館者が130人増加したことにより施設使用料が増加したためである。</p>	<p>施設の管理運営に係る年間のコスト縮減は、すでに限界に達していることから不可能であり、収支を改善するためには施設使用料収入を増やす以外に方法はない。 周辺に集客施設がないため、掛川市茶室のように他の施設から流れてくる客は見込めないため、喫茶以外の施設利用を考慮する必要がある。</p>
<p>(2) 利用者数の増加について</p> <p>【行革推進係から】 一部の人がしか使わない割りに、毎年たくさんの指定管理料が支払われていませんか？ より多くの利用者を獲得するために、市としてどんな事業展開を考えますか？</p>	<p>平成24年度は、23年度に比べ130人増加したが、22年度とはほとんど変わらない。 掛川市茶室のように掛川城のついでに、立ち寄る客は考えられないので、大幅増は考えられない。</p>	<p>掛川市のホームページで紹介したり、イベント茶会のチラシを大須賀区域に配付したりしているが、入館者数は頭打ちであり、茶室の存在をもっと周知する必要がある。</p>
<p>(3) 利用者の満足度向上について</p> <p>【行革推進係から】 市の政策目的の達成に見合う事業が行われているのでしょうか？ 毎年決まった事業内容やイベント等でなく、利用者の関心を引きつけ、魅力ある施設運営をめざしましょう。</p>	<p>通常の呈茶のほかに、年5回のイベント茶会を開催し、茶室としての茶道文化の普及及び伝承を図るという目的は達成している。</p>	<p>現在の周辺環境を考慮すれば、目的は達成していると考ええる。</p>

5 その他自由意見